

学科名	情報ビジネス科
コース名	
授業科目	サービス介助
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義+演習
時間数	15
単位数	1
担当教員	山下 恵子
実務経験	有
実務経験職種	救命救急士
授業概要	高齢な方や障がいがある方を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学びます。
到達目標	超高齢社会・障がい者等多様な人が暮らす社会において、すべての人との良好なコミュニケーション関係を築き、困りごとや必要なことに対して、その人、その場に合わせた行動ができるようになる。
授業方法	講義を通じて、高齢な人や障がいのある人とのコミュニケーションの取り方、介助方法を実践的に学ぶ。
成績評価方法	試験、課題、小テスト等を総合的に評価する。
履修上の注意	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。
教科書・教材	適時、プリントを配布する。

授業計画	
第1回	オリエンテーション（科目の目的・意義について理解できる）
第2回	高齢者への理解（1）（高齢者への対応方法について理解できる）
第3回	高齢者への理解（2）（認知症について理解できる）
第4回	高齢者への理解（3）（疑似体験を通じて白内障について理解できる）
第5回	聴覚障がい者への理解（1）（聴覚障がい者への対応方法が理解できる）
第6回	聴覚障がい者への理解（2）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への対応方法が理解できる）
第7回	聴覚障がい者への理解（3）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への対応方法が理解できる）
第8回	聴覚障がい者への理解（4）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への対応方法が理解できる）
第9回	車いす利用者への理解（1）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第10回	車いす利用者への理解（2）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第11回	車いす利用者への理解（3）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第12回	視覚障がい者への理解（1）（視覚障がい者への対応方法が理解できる）
第13回	視覚障がい者への理解（2）（疑似体験を通じて障がい者への対応について理解できる）
第14回	視覚障がい者への理解（3）（疑似体験を通じて障がい者への対応について理解できる）
第15回	まとめ